

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	就労支援事業所A型 さぼーと	事業所番号	2610281582
住 所	京都市上京区西堀川通下立売上る四町目55-51番地 堀川下立売団地109号室	管理者名	水口 千宝
電話番号	075-468- 1212	対象年度	令和6年度

(Ⅰ) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		55点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満	○	
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		点

(Ⅱ) 生産活動		
①過去 3 年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	50
②過去 3 年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去 3 年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去 3 年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去 3 年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去 3 年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
		点
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤－10点 ⑥－20点		

(Ⅲ) 多様な働き方（※）		
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		15
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
小計（注1）	6	点

(Ⅳ) 支援力向上 (※)		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計 (注2)	5	
(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注2) 5以上:15点、4～3:5点、2点以下:0点		

(Ⅴ) 地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10点
1事例以上ある場合:10点		

(Ⅵ) 経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0点
期限内に提出していない場合:-50点		

(Ⅶ) 利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10点
1事例以上ある場合:10点		

項目	点数							
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
生産活動	20点	10点	20点	40点	50点	60点		
多様な働き方	0点	5点	15点					
支援力向上	0点	5点	15点					
地域連携活動	0点	10点						
経営改善計画	0点	50点						
利用者の知識・能力向上	0点	10点						

合計

155点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

（Ⅰ）労働時間

前年度（令和6年度）

雇用契約を締結していた全ての
利用者における延べ労働時間

19,227

時間

雇用契約を締結していた延
べ利用者数

4,104

人

利用者の1日の平
均労働時間数

4.68

時間

（Ⅱ）生産活動

会計期間（8月～7月）

前々々年度（年度）

生産活動収入から経費
を除いた額

円

利用者に支払った賃金
総額

円

収支

円

前々年度（令和5年度）

生産活動収入から経費
を除いた額

4,752,087

円

利用者に支払った賃金
総額

647,915

円

収支

4,104,172

円

前年度（令和6年度）

生産活動収入から経費
を除いた額

17,034,055

円

利用者に支払った賃金
総額

14,499,077

円

収支

2,534,978

円

（Ⅲ）多様な働き方

前年度（年度）における取組（全体表「（Ⅲ）多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨
に関する制度を定めている

✓

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を
定めている

✓

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律
に関する制度を定めている

□

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を
定めている

□

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を
定めている

✓

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を
定めている

✓

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度
を定めている

✓

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を
定めている

✓

（Ⅳ）支援力向上

前年度（年度）における取組（全体表「（Ⅳ）支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している

✓

◎外部研修、もしくは内部研修を

1回以上実施している。

✓

※研修名 精神・発達障害者しごとサポーター養成講座

研修講師 谷中様（ハローワーク西條）

※研修日・受講者数 1月 22日 2人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において

1回以上発表している

✓

※研修・学会等名 原酒造 J & P A N ビジネスフェア（就労支援）

※研修・学会等名 7月 24日

※学会誌等名 掲載日 月 日

発表テーマ 飲食業と福祉サービスの連携について等

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している

もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている

✓

※先進的事業者名 ジルベルト

※実施日/参加者数 12月 14日 2人

※他の事業所名 実施日/参加者数 月 日 人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上

参加している。

✓

※商談会等名 販路拡大のための商談会

主催者名 上京 SI 委員

日時 1月 15日

内容 今後の販路拡大に向けた連携の模索

インクルーシブな活動や事業の情報共有

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している

✓

◎当該人事評価制度を周知している

✓

人事評価制度の制定日 令和5年4月1日

人事評価制度の対象職員数 8名

うち昇給・昇格を行った者 6名

当該人事評価制度の周知方法

事業所にて閲覧

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している

□

◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」

を受講している

□

※配置期間 月 日～月 日

※就業時間

※職務内容

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に

福祉サービス第三者評価を受けている

□

※評価を受けた日 月 日

※第三者評価機関

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント

規格等の認証等を受けている

✓

※認証を受けた日 月 日

※規格等の内容

（Ⅵ）経営改善計画

◎指定庁者である都道府県（指定都市・中核市）へ
経営改善計画書へ提出した。

□

※受理日 年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	株式会社 さぽーと	事業所番号	2610281582
住 所	京都市上京区西堀川通下立売四丁目	管理者名	水口 千宝
電話番号	075-468-1212	対象年度	2024年度

地域連携活動の概要

<活動内容> 活動場所：株式会社KAKEGOE スシクシ酒場どうぞ京都駅北店 実施日程：2024年7月5日～ 実施した生産活動・施設外就労の概要： 毎日(年末年始を除く、8時30分～14時)、シフトにより変則あり 施設外就労として、店舗のオープニング作業(清掃)に取り組む	<活動の様子> ・店舗内掃き掃除、拭き掃除 ・店舗前掃き掃除 ・調味料拭き ・メニュー拭き ・トイレ清掃
<目的> 地域連携活動のねらい：地域の飲食店との協力により、地域の一員として利用者が地域に貢献し、社会的な繋がりを深める事がねらい。 地域にとってのメリット：清掃活動を通じて、飲食店周辺の環境が綺麗になり、地域の衛生面が向上する。それに伴い、住民の生活環境にも直接的な良い影響を与える。 対象者にとってのメリット：一般企業で働く方との交流が生まれる事で、より一般企業に近い働き方を体験し、一般就労へ向けての自信に繋がる。	
<成果> 実施した結果：飲食店のオープン作業でスタッフの方々や他の地域の住民と交流する事で、利用者さんの社会適応能力が向上。また、普段とは異なる環境での作業を通じて、対人スキルやコミュニケーション能力が養われた。 得られた成果：実際に作業を行い、成果を実感する事が出来た事で、利用者様の就労に対する意欲が高まる 今後の課題：地域連携の効果を最大化する為には今後も地域の飲食店や他企業と継続的關係を築いていく必要がある。また、利用者様が今回の活動を通じて得た自信を今後の就労に結びつける事が課題。	

連携先の企業等の意見または評価

連携した結果に対する意見又は評価：飲食店側は日々の仕込み作業に追われている為清掃までしっかり行き届かないという事が現状にある為、毎日徹底して清掃が行えている事に高評価して頂いている。また、店内の清掃が行き届いているとお客様の満足度に直結する為今後も続けて欲しいとの事。 今後の連携強化に向けた課題：密なコミュニケーションを取る。⇒飲食店側と就労支援A型事業所との間で作業内容や期待される基準についての認識がずれが生じる事がある。 地域連携活動がどのように地域や企業に貢献しているのか、その成果が明確になっていないと活動が評価されづらくなり、次回の連携に繋がりにくくなる。
--

連携先企業名	株式会社 KAKEGOE	担当者名	島津 さくま
--------	--------------	------	--------

2024 年 11 月 16 日

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	株式会社 さぼーと	事業所番号	2610281582
住 所	京都市上京区西堀川通下立売四丁目	管理者名	水口 千宝
電話番号	0 7 5 - 4 6 8 - 1 2 1 2	対象年度	令和 6 年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容> 活動場所 四条高倉 あいよ！！ 実施日程 2024年11月16日 講師 竹井 慧（株式会社KAKEGOE） 実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要 販売接客講座 食材の調理工程を確認 食事会を開催。 参加者 利用者様 スタッフ7名、利用者様12名	<活動の様子>  成果物の試食会 実際に自分達が作業した食材がどの様に提供されているのかを確認 作る側、食べる側、両方の気持ちを体感して頂いた。  また、調理場へ入らせて頂き串カツを揚げている工程を見させて頂いた。   接客講座 株式会社カケゴエの社員さんによる接客講座の様子。接客経験が少ない利用者様が多い為皆様 興味心身で話を聞かれていた。今後の利用者様の一般就労へ向けての仕事探しの視野も 広げる事ができた。
<目的> 利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい ①取引先企業との交流や作業の確認を行うことで施設作業では学べない就労体験を得る事ができ、作業の仲間と交流を深めることで、協調性の向上に繋がる。 ②飲食店で働くための接客スキルや衛生管理を学び、就労の幅を広げる。 利用者にとってのメリット:一般就労に向けて、モチベーションアップになる。	
<成果> 実施した結果: 作業の再確認ができ、接客や調理工程を実際に見る事で作業に対する視野が広がりスキル向上に繋がった。 得られた成果: 飲食店での基礎知識や衛生管理についての意識も高まった。 参加された利用者様はとても喜んでおられ、それぞれのやる気に繋がり、作業が丁寧になった。 課題点: 実施することによって、多くの成果を得ることができたので、今後も年に2回を目標に実施していきたいと思っている。	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

・みなさん真剣に聴いていただいていた。また飲食店の実際の接客や調理工程を見ていただけたのがよかった。 ・飲食業にとって大切な品質の均一化と衛生管理について学び、これからの活動に役立ていただければ。 ・今日聞いて終わりではなく、今後に活かして欲しい。	
連携先企業（担当者）	株式会社KAKEGOE 竹井 慧

利用者からの意見・評価

・「外部の方のお話を聞く機会が少ない為、このような機会を作って頂きありがとうございました。」 など機会を作って頂いた事に感謝されている意見が多かった。 ・自分達が作った物が実際にお客様へ提供されている所を見て自信が持てたなどプラスの意見も多かった。
